



マダニがつかないように

- ・ 野外で遊ぶ時は、長袖や長ズボンを着用して肌の露出を避けましょう。
- ・ マダニに効果のある成分（ディート、イカリジン）が入っている虫除けスプレーを使いましょう。
- ・ お家に入る前に、粘着テープなどで洋服についていないかを確認しましょう。
- ・ お風呂に入る時、身体についていないか全身を確認しましょう。



自分でとったり、つぶしたりしない!!

- ・ つまんで取ると、皮膚にマダニの組織が残って化膿することがあります。
- ・ つぶすと、マダニに含まれるウィルスや細菌に触れてしまう可能性があります。
- ・ なるべく早く医療機関（皮膚科など）で安全に除去してもらいましょう。
- ・ 全てのマダニが病原体を持っているわけではありません。刺されても慌てずに対応しましょう。
- ・ マダニを除去したあとは、1-2週間は倦怠感や発熱に注意しましょう。症状が現れた場合は、病院でマダニに刺されたことを伝えて相談すると良いでしょう。



自分とペットをマダニから守るためには？

- ・ ノミ・ダニ駆虫薬が有効です。
- ・ 山や下草の茂った森、河川に出かけた後は特に注意しましょう。

野外活動では、様々なリスクがあります。

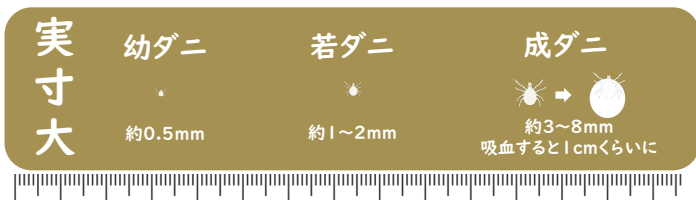
ルールやマナーを守って楽しく安全に楽しみましょう。

マダニのヒミツ

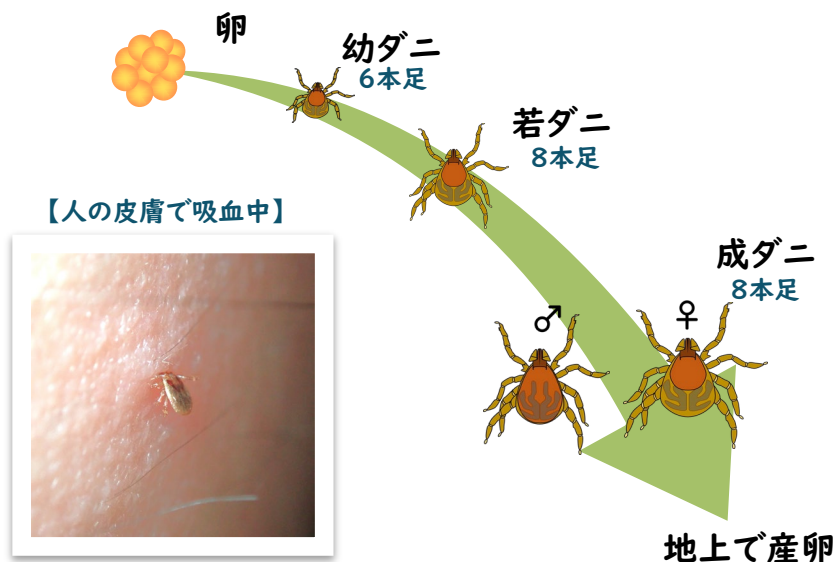


マダニってなに？

マダニは、ほ乳類や鳥、は虫類などの脊椎動物の血を吸って生きる、とても小さな生物です。日本には約50種類、世界には約950種類が確認されています。



マダニの生活サイクル

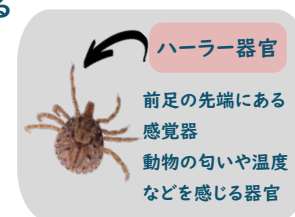


写真提供: 土井寛大 (森林総合研究所)

- マダニは数日~2週間かけて吸血します。
- 吸血するマダニは満腹になると脱落し、脱皮して若ダニ、成ダニへと成長します。
- 成ダニは吸血にともなって交尾します。吸血が終わると動物から離れて、地上で卵を産み落として一生を終えます。

マダニはどこにいる？

- マダニは乾燥が苦手で、草むらや落ち葉のあるところを好みます。
- ハーラー器官を使って、動物が通るのを「バンザイ」の姿勢で待ち伏せしています。
- 歩いて移動することもあります。長い距離は歩けません。吸血しながら動物と一緒に移動します。



動物がいるところ=マダニが多い

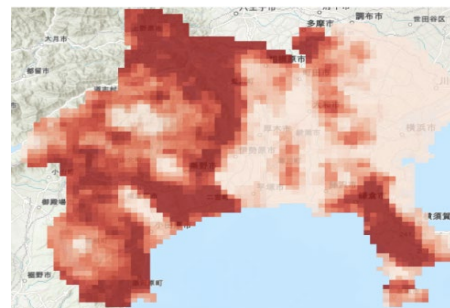


神奈川県のマダニ

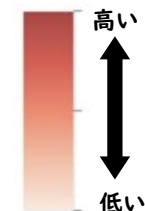
現在、神奈川県では、次の14種が確認できています。採取したマダニと採取場所の植生などから、県内でマダニが分布しやすい場所を調べたダニマップを株式会社EGOでは作成しています。今後、日本全国へ広げる予定です。

【神奈川県内で見つかったマダニ】

タカサゴキララマダニ、ベルルスカクマダニ、キチマダニ、タカサゴチマダニ、フタトゲチマダニ、ヤマトチマダニ、ヒゲナガチマダニ、ヤマアラシチマダニ、オオトゲチマダニ、ヒツツゲマダニ、タネガタマダニ、ヤマトマダニ、シュルツェマダニ、カモシカマダニ



人を刺しやすいマダニが生息する可能性



*Doi et al. (2021) *Insects*の予測モデルを元に神奈川県内における人体刺咬症例が多いマダニの生息適地を描出しています。